

私は公明党を代表し、ただいま議題になっております、認第1号令和5年度野田市一般会計歳入歳出決算認定並びに認第2号から認第5号までの各特別会計決算認定までの5件、全てに賛成する立場で討論いたします。

本年1月に閣議決定された令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度によれば、令和5年度の日本経済実績見込みについては、以下の通り述べられています。

「我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている。他方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついていない。個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いている。これを放置すれば、再びデフレに戻るリスクがあり、また、潜在成長率が0%台の低い水準で推移しているという課題もある。このため政府は、デフレ脱却のための一時的な措置として国民の可処分所得を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため、デフレ完全脱却のための総合経済対策を策定した。その裏づけとなる令和5年度補正予算を迅速かつ着実に執行するなど、当面の経済財政運営に万全を期す。こうした中、令和5年度の我が国経済については、実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.6%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は5.5%程度、消費者物価（総合）は3.0%程度の上昇率になると見込まれる。」との内容であります。

そのような経済状況の下、野田市の令和5年度の決算におきまして、実質収支に関しては一般会計で10億5,288万2,653円の黒字であり、特別会計においても2億3,038万8,491円の黒字決算となっております。

これは、市民のニーズに的確に応えつつ、行政サービスを安定的に提供し可能な限り市民サービスに影響がない形で経費削減に努め、元気で明るい家族を築ける野田市の実現に向け取り組むとともに、健全な財政運営に大変な努力をされたたまものであると評価いたします。また、各財政指評を見ても、地方公共団体の健全化の基づく実質公債比率は4.3%と0.4ポイント改善されており、また将来負担比率は将来負担額に充当可能な財源額が将来負担額を上回ったことを評価いたします。

一方財政の弾力性を示す経常収支比率については、93.5%で前年度よりも0.9ポイント上昇となっており、財政構造の硬直化の心配があることから原因究明と経常経費のさらなる抑制が必要であると思われまます。

歳入に関して特筆すべき点は、電話及び窓口での勧奨に加え、クレジットカードやスマートフォンアプリを利用した納付方法の利便性の向上を行った結果、市税全体の徴収率が向上して98.81%と3年連続して県内第3位の徴収率とな

っていることが挙げられ、評価いたします。

次に個々の歳出を見てみますと、多くは厳しい環境の中で当初予算の目的に沿った支出であり、市民生活向上につながる予算執行であると考えます。

また市民の目線からの数々の施策が適正に執行されたものと評価いたします。

具体的事業としては、教育施策として、学校図書館司書等配置事業、就学援助費、小学校トイレ改修事業、オープンサタデークラブ事業、私立幼稚園教諭就労奨励金、私立幼稚園教諭就労促進家賃補助金、子育て支援施策として、子ども医療費助成金の拡充、あかちゃんお祝い金、第3子以降の学校給食費無償化、学校給食野田産米補助事業、学校給食費物価高騰対策事業、こども誰でも通園制度事業等、子育て世代の大きな支援につながっており評価いたします。

健康スポーツ文化施策として、健康・スポーツポイント事業、鈴木貫太郎記念館資料修復事業、駅前整備施策として、野田市駅西土地区画整理事業、愛宕駅西口駅前広場等整備事業も評価いたします。

福祉施策として、補正具等購入費用助成金、不妊症・不育症治療費助成金、消防力の強化のための、救急救命士の養成、消火栓の整備、消防指令業務共同運用事業も評価いたします。そのほか、公共施設照明LED化事業、交通不便地域支援事業、キャッシュレス決済の導入、買物弱者対策費にも評価いたします。

その他の事業におきましても、それぞれの法律及び条令に基づき適正な予算執行がなされているものであると評価いたします。

あわせて認第2号から認第5号までの各特別会計におきましても、それぞれ事業目的にかなった予算執行となっており評価いたします。

当局におかれましては、引き続き景気の動向を注視し、経費の削減と徹底した行政改革を実施し、限られた財源の効率的な配分のために努力されることを期待いたします。

以上、何点か申し上げましたが、市民の目線での魅力ある生活満足度の高いまちづくりの施策を着実に推進していただきたいことを要望し、賛成討論といたします。